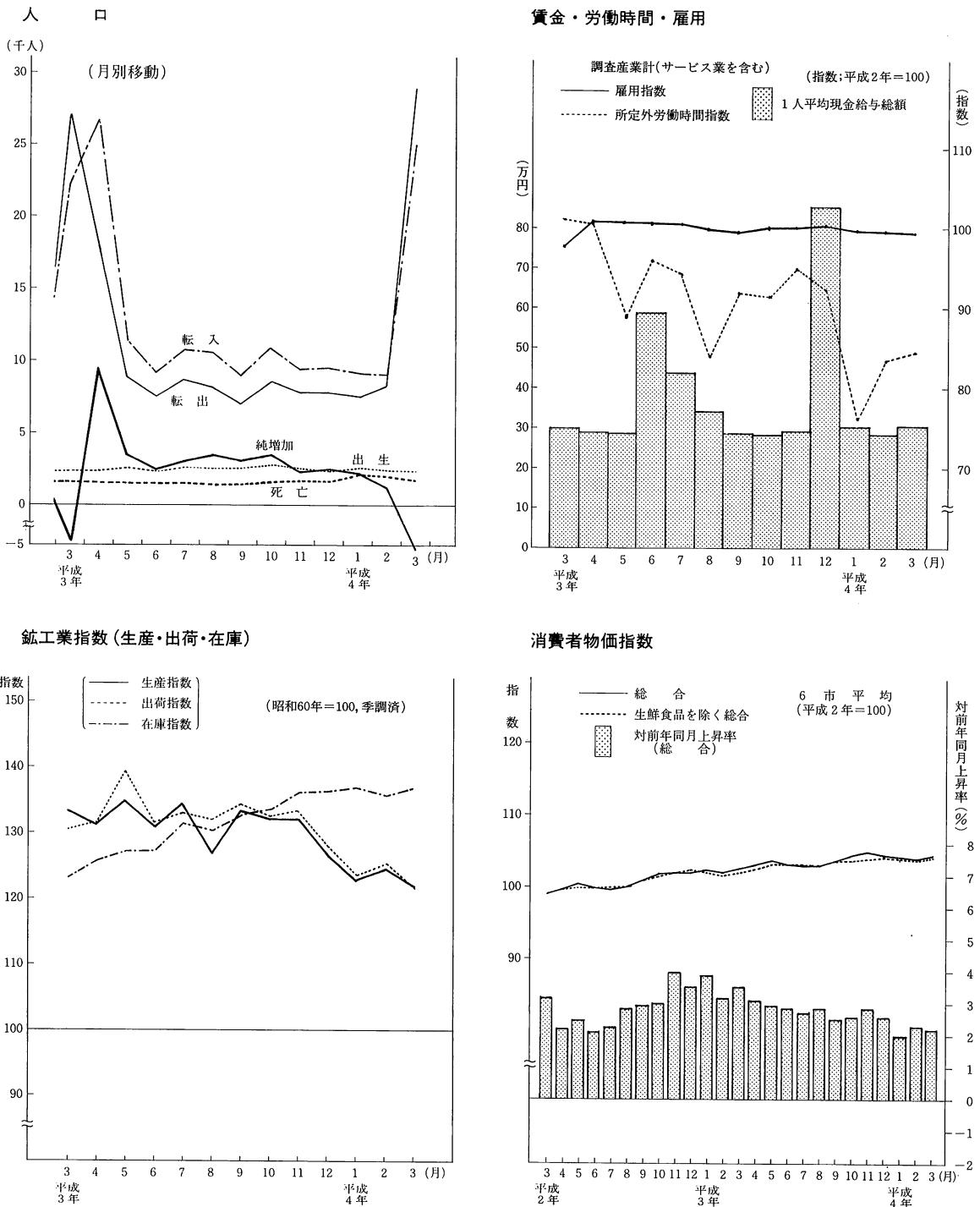


●今月の主な動き

今月の主な動き



今月の主な動き●

主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人 口(4月1日)

本県の人口は、3月中に3,278人減少し、4月1日現在で2,885,102人(男1,439,786人、女1,445,316人)となった。

内訳は、自然動態で596人(出生2,383人、死亡1,787人)増加し、社会動態で3,874人(転入24,910人、転出28,784人)減少した。

市町村別では、増加が7市36町村、減少が12市30町村、

■賃金・労働時間・雇用(3月)

1. 平均賃金の推移

3月の現金給与総額は、調査産業計で306,949円、対前年同月比2.6%増、このうちきまって支給する給与は280,837円、対前年同月比2.8%増であった。また、このうち所定内給与は251,745円、対前年同月比4.5%増であり、超過労働給与は29,092円、対前年同月比10.0%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比もちあいだった。

* この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(3月分)

本県における平成4年3月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が121.9、出荷が121.8、在庫が137.0で、前月比は、生産が△1.8%の低下、出荷が△2.5%の低下、在庫が0.7%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△8.5%の低下、出荷が△6.6%の低下、在庫が11.6%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、その他工業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業等が低下した。出荷では、鉱業、

増減なしが1市1町である。

世帯数についても3月中に1,107世帯減少し861,175世帯となった。

なお、3月3日に水戸市と常澄村が合併し、県内87市町村となった。

2. 労働時間

3月の総実労働時間は、調査産業計で167.3時間、対前年同月比1.5%減であった。このうち所定内労働時間は150.9時間、対前年同月比0.4%増、所定外労働時間は、16.4時間、対前年同月比16.3%減であった。

3. 雇用の動き

3月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.4%増であった。

精密機械工業、繊維工業等が上昇し、その他工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、輸送機械工業、鉄鋼業等が上昇し、鉱業、非鉄金属工業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財、その他用生産財等全てにわたって低下した。出荷では、資本財、非耐久消費財が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。在庫では、建設財、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数(3月)

平成4年3月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で104.5(平成2年=100)となり、前月比0.4%の上昇、前年同月比2.2%の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物8.9%、衣料4.6%、調理食品2.2%、飲料1.8%、生地・他の被服類1.6%、教養娯楽耐久財1.4%

今月下がった主な項目……シャツ・下着2.1%

生鮮食品を除く総合は104.2となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比2.4%の上昇となった。

費目別指数 (平成2年=100)

区分	指 数	上昇率(%)		区分	指 数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.5	1.0	2.5	保 健 医 療	102.3	2.8	2.3
食 料	107.8	0.7	3.0	交 通 通 信	99.9	△0.4	△0.7
住 居	107.6	1.2	4.7	教 育	105.8	3.1	3.3
光 然・水 道	102.9	0.6	0.3	教 育 娯 楽	107.2	0.7	3.1
家具・家 用 品	101.0	0.0	0.9	諸 雑 費	103.0	0.1	2.0
被 服 及び 履 物	106.6	2.5	3.4	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	105.1	0.9	2.6